

研究業績報告書（平成 29 年度）

ふりがな 氏名	ありふく かずあき 有福 一昭	職名	教授
学位	修士(芸術学)	現在の研究分野	美術教育
所属学会		絵本学会	
主要担当授業科目		「図画工作」「事前・事後の指導(小学校)」「図画工作科指導法」 「芸術文化論」「教職実践演習(幼・小)」	
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況		特記事項なし	
学会及び社会における 主な活動		<ul style="list-style-type: none"> ・日本ブルーノ・ムナーリ協会 会員(平成1年～現在) ・ブルーノ・ムナーリ協会(イタリア) 海外特派員会員(平成10年～現在) ・「おりがみカーニバル」応募作品審査員 平成12年～26年(日本折り紙協会) ・NPO 法人市民の芸術活動推進委員会 理事(26年～現在、平成10年～25年会員) 	
過去5年の 研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの城活動事例集 DVD「かげをうつそう」こどもの城(財団法人児童育成協会) 平成24年(企画監修) ・こどもの城活動事例集「児童館で活用できる遊びのプログラム」①～④こどもの城(財団法人児童育成協会) 平成24年～26年造形プログラム執筆(共著) ・「造形ワークショップのひろがり」～こどもの城造形スタジオの活動～武蔵野美術大学 平成25年(共著) ・「ニューカラーパラダイス2014」～60造形プログラム～リントック株式会社 平成26年(共著) <p>[学術論文]</p> <p>[学会発表・公演・講演等] (ワークショップ・研修会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ「音楽を聴いて絵を描こう～動物の謝肉祭」実施 秋田国民芸術祭関連事業 秋田市立千秋美術館 平成25年 ・ワークショップ「木をつくろう」実施「ブルーノ・ムナーリ展」ヴァンジ彫刻庭園美術館 平成25年(展示企画協力を含む) ・研修会「アートとあそぼう」実施 さぬきこどもの城児童厚生員実技講習会 平成26年 <p>(講演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「ブルーノ・ムナーリの造形教育について～こどもの城での活動から」 「イタリア・マントヴァ子ども芸術・演劇祭」招聘事業 イタリア・マントヴァ市 Segni d' Infanzia 平成27年 		

ふりがな 氏名	きねむち ひろみ 杵坂 広美	職名	教授
学位	博士(教育学)	現在の研究分野	障害児心理学、音楽心理学
所属学会		日本特殊教育学会、日本音響学会、日本発達心理学会、日本音声言語医	

	学会、日本聴覚言語障害学会、日本 LD 学会、日本臨床神経生理学会、日本心理学会、日本赤ちゃん学会
主要担当授業科目	「保育相談支援」、「相談援助」、「発達と障害」、「障害児保育」、「芸術文化論」、「プレ実習」、「事前事後の指導（保育所・施設）Ⅰ」、「事前事後の指導（施設）Ⅲ」
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	全国保育士養成協議会 平成 24 年度関東ブロック研究助成 研究課題名 「多文化共生社会に求められる保育士の資質および役割に関する研究－江東区、足立区、江戸川区の事例として－」（研究代表者） 全国保育士養成協議会 平成 26 年度関東ブロック研究助成 研究課題名 「多文化共生保育の課題と保育士養成－東京都江東区と群馬県大泉町を事例として－」（研究分担者）
学会及び社会における 主な活動	江東区こども発達センター 第三者委員（平成 23 年 4 月～） YMCA オリーブ保育園 運営委員（平成 24 年～4 月～） 日本音楽学校保育園 第三者委員（平成 28 年 4 月～）
過去 5 年の 研究業績	<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『教育心理学エチュード－新たなエンサクロペディア－』川島書店、平成 24 年（分担） 『楽曲聴取による聴覚の活用と発達支援』武久出版、平成 25 年（単著） 『新・教職課程シリーズ 教育相談』一藝社、平成 26 年（分担） <p>【学術論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「多文化共生社会に求められる保育士養成校の課題－学生への意識づけを試みた授業実践を通して－」『保育士養成研究』第 31 号、平成 26 年（共著） 「多文化共生保育に関する研究の概観－保育者養成に関連した多文化共生保育研究に着目して－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 5 巻、平成 26 年（共著） 「日本人が感じる拍子感－保育者養成校の学生を対象とした聴取課題からの考察－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 5 巻、平成 26 年（共著） 「子ども教育実践総合センター『子ども発達相談室』の概要と今後の展望」『有明教育芸術短期大学紀要』第 6 巻、平成 27 年（共著） 「音楽がもたらす情緒的情報について－聴取者の楽曲の既知性、演奏方法、音楽経験からの考察－」『昭和音楽大学研究紀要』Vol. 36、平成 29 年 <p>【学会発表・公演・講演等】</p> <p>（学会発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「楽曲における演奏方法の違いが聴取に与える影響について（2）－幼稚園教諭・保育士養成校生を対象とした聴取実験から－」日本発達心理学会第 24 回大会、平成 25 年（単独発表） 「多文化共生社会に求められる保育士養成校の役割－学生への意識づけを試みた授業へのアプローチ－」全国保育士養成協議会第 52 回研究大会、平成 25 年（共同発表） 「楽曲の情緒的情報に関する基本的考察－楽曲の既知性や音楽経験との関係から－」日本発達心理学会第 26 回大会、平成 27 年（単独発表） 「楽曲の情緒的情報に関する基本的考察－楽曲の既知性や音楽経験との関係から－」日本発達心理学会第 28 回大会、平成 29 年（単独発表） <p>（講演）</p> <ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人横浜市幼稚園協会教員研修会「発達が『気になる子ども』と共にすごすための環境づくり」、かながわようちえん会館、平成 24 年（報告書） 『幼児期の教育と発達に関する都市と農村の比較研究』（有明教育芸術短期大学子ども教育学科研究プロジェクト研究報告書）、平成 25 年（共著）（学会シンポジウム） 日本心理学会第 79 回大会 公募シンポジウム「日常の音楽聴取における心理と行動：人はいつ、どこで、どんな音楽を聞くのか？」 話題提供『スポーツ活動における音楽の効果』、名古屋国際会議場、平成 27 年 9 月

ふりがな 氏名	ふかざわ みずほ 深澤 瑞穂	職名	教授
学位	学士（教育学）	現在の研究分野	幼児教育
所属学会			
主要担当授業科目	「保育内容（環境）」、「保育内容（造形表現）」、「事前事後の指導」、「プレ実習」、保育教材研究B「語りと人形」教職実践演習（幼・小）		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況			
学会及び社会における 主な活動	特記事項なし		
過去5年の 研究業績	<p>[著書] なし</p> <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江東区教育委員会教育課題対応モデル園『自分も友達も大切にすることも育てる』、平成24年（共著） ・「実習指導に関する研究－2年次幼稚園実習における学生の自己評価と実習園の評価に着目して－」『有明教育芸術短期大学紀要』第6巻、平成27年（単著） ・「幼稚園実習の事前事後指導のあり方に関する研究－実習園評価と学生評価の比較を視点に－」『有明教育芸術短期大学紀要』第7巻、平成28年（単著） ・造形と音楽の総合的な表現力育成に関する考察－造形表現と音楽表現の融合による実践例－『有明教育芸術短期大学紀要』第8巻、平成29年（共著） <p>[学会発表・公演・講演等] (講演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江東区教育委員会主催主任教諭研修会「主任教諭に期待すること」、平成26年 ・有明教育芸術短期大学子ども教育実践総合センター子育て支援公開講座「幼稚園入園までにこれだけは」、平成26年 ・江東区家庭学級講演会 江東区立元加賀幼稚園「子どもの自立について」平成27年11月 ・江東区幼稚園教育研究会ブロック研究会「自然とのかかわり」平成28年 ・江東区家庭学級講演会 江東区立元加賀幼稚園 「区立幼稚園で学べる親子の教育力」平成28年9月 		

ふりがな 氏名	みさわ ゆみこ 三澤 裕見子	職名	教授
学位	文学修士	現在の研究分野	児童文学、中国哲学
所属学会	日本児童文学学会、日本中国学会、全国漢文教育学会		
主要担当授業科目	「児童文学」、「保育内容 言葉」、「国語科指導法」、「国語（書写を含む）」 「保育教材研究B 語りと人形」		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし		

学会及び社会における 主な活動	特記事項なし
過去5年の 研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> 『児童文学と紙芝居～広介・未明・五山を中心に～』武久出版、平成25年（単著） <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「子守唄とおんぶ・抱っこの子育て慣行・伝承に関する研究―都市部と農村部の実態調査を通して―」『有明教育芸術短期大学紀要』第4号、平成25年（共著） 「浜田広介の童話創作理念についての考察」『有明教育芸術短期大学紀要』第3号、平成24年（単著） 「日本教育紙芝居協会と松永健也の活動に関する考察-対象をこどもから大人にまで拡大した背景に視点を据えて-」『有明教育芸術短期大学紀要』第8巻、平成28年（単著） <p>[学会発表・公演・講演等] (報告書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『幼児期の教育と発達に関する都市と農村の比較研究』（有明教育芸術短期大学子ども教育学科研究プロジェクト研究報告書）、平成25年（共著）

氏名 <small>ふりがな</small>	諸井 泰子 <small>もろい やすこ</small>	職名	教授
学位	学士（芸術学）	現在の研究分野	音楽教育学・保育学
所属学会	日本保育学会、日本乳幼児教育学会、		
主要担当授業科目	「ピアノⅡ（弾き歌いと伴奏）」、「保育原理Ⅱ（課程と方法）」		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	全国保育士養成協議会平成24年度ブロック研究助成、研究課題名「多文化共生社会に求められる保育士の資質および役割に関する研究―江東区、足立区、江戸川区の事例として―」（研究分担者） 全国保育士養成協議会関東ブロック協議会平成26年度関東ブロック研究助成、研究課題「多文化共生保育の課題と保育士養成―東京都江東区と群馬県大泉町を事例として―」（研究分担者）		
学会及び社会における 主な活動	江東区区民講座審査会 審査委員長（平成24年～現在） 日本乳幼児学会編集委員（平成25年度、平成26年度） 江東コミュニティ財団 外部評価委員（平成26年度）		
過去5年の 研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> 『保育と音楽～表現者としての保育者養成～』武久出版、平成25年（編著） <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代が望む地域の祖父母世代との交流」『乳幼児教育学研究』第21号、日本乳幼児教育学会、平成24年（共著） 「乳幼児の安全学習と安全管理―乳幼児の危険体験数と危険体験に対する母親の容認度に着目して―」『保育士養成研究』第30号、全国保育士養成協議会、平成24年（共著） 「乳幼児を持つ母親の子育てにおける援助要請行動―自律的援助要請・依存的援助要請を視点とした検討―」『有明教育芸術短期大学紀要』第3号、平成24年（単著） 「子育てにおける世代間交流の実態―農村地域の高齢者が望む乳幼児と保護者との交流―」『有明教育芸術短期大学紀要』第4号、平成25年（共著） 「自作教材研究に特化した授業の実践―絵本を題材としたパネルシアターの制作と保育現場での実践を中心に―」『有明教育芸術短期大学紀要』第4号、平成25年（共著） 「多文化共生社会に求められる保育士養成校の課題―学生への意識づけを試みた 		

	<p>授業実践を通してー『保育士養成研究』第 31 号、全国保育士養成協議会、平成 26 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多文化共生保育に関する研究の概観ー保育者養成に関連した多文化共生保育研究に着目してー」『有明教育芸術短期大学紀要』第 5 巻、平成 26 年（共著） ・「保育者養成校における音楽教育に関する研究ー課題の設定と指導法を視点にー」『有明教育芸術短期大学紀要』第 6 巻、平成 27 年（共著） ・「保護者が期待する小学校における子育て支援の検討ー小学校 1 年生の保護者への調査からー」『有明教育芸術短期大学紀要』第 7 巻、平成 28 年（単著） <p>【学会発表・公演・講演等】</p> <p>（学会発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てに関する世代間交流の実態ー農村地域の高齢者が望む乳幼児と養育者との交流」日本保育学会第 65 回大会、平成 24 年（共同発表） ・「多文化共生社会に求められる保育士養成校の役割ー学生への意識づけを試みた授業絵のアプローチー」全国保育士養成協議会第 52 回研究大会、平成 25 年（共同発表） <p>（講演）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江東区立古市場文化センター主催「ママとベビーのはじめのいっぽー親子で楽しい音楽あそび」江東区立古市場文化センター、平成 25 年 ・江東区立古市場文化センター主催「ママとベビーのはじめのいっぽー絵本で楽しい子育てー絵本を介した親子のコミュニケーション」江東区立古市場文化センター、平成 25 年 ・赤ちゃんとの暮らし研究会主催「学ぶ子育て講座ー言葉を育む赤ちゃんとのコミュニケーション」、江東区深川スポーツセンター、平成 25 年 <p>（報告書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『幼児期の教育と発達に関する都市と農村の比較研究』（有明教育芸術短期大学子ども教育学科研究プロジェクト研究報告書）、平成 25 年（共著）
--	--

ふりがな 氏名	やまだ まみこ 山田 麻美子	職名	准教授
学位	学士（芸術）	現在の研究分野	音楽・音楽教育・ピアノ教育
所属学会	全国大学音楽研究学会、東京ピアノ研究会、MENA 音楽教育者連合		
主要担当授業科目	「音楽Ⅰ」、「音楽Ⅱ」、「ピアノⅠ」、「保育内容（音楽表現）」		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし		
学会及び社会における 主な活動	MENA 音楽教育者連合ピアノ審査員		
過去 5 年の 研究業績	<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『保育と音楽～表現者としての保育者養成～』武久出版、平成 25 年（共著） <p>【学術論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育者養成校における音楽教育に関する研究～課題の設定と指導法を視点に～」『有明教育芸術短期大学紀要』第 6 巻、平成 27 年（共著） ・「保育者養成校におけるピアノ初心者への学習支援のあり方～童謡伴奏における手のポジション移動と指使い及び読譜練習に着目して～」『有明教育芸術短期大学紀要』第 7 巻、平成 28 年 ・「造形と音楽の総合的な表現力育成に関する考察～造形表現と音楽表現の融合による実践例～」『有明教育芸術短期大学紀要』第 8 巻、平成 29 年 <p>【学会発表・公演・講演等】</p>		

	<p>(公演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「品川区立一本橋保育園音楽専科指導」演奏・指導、品川区立一本橋保育園ホール、平成 24 年 ・「品川区伊藤保育園音楽専科指導」演奏・指導、品川区立伊藤保育園ホール、平成 24 年 ・「品川区立東大井保育園音楽専科指導」演奏・指導、品川区立東大井保育園ホール、平成 24 年 ・「品川区立滝王子保育園音楽専科指導」演奏・指導、品川区立滝王子保育園ホール、平成 24 年 ・「品川区立大井倉田保育園音楽専科指導」演奏・指導、品川区立大井倉田保育園ホール、平成 24 年 ・「認知症予防のための音楽療法指導」鶴沼海岸有料介護老人施設「フェリエ・ドゥ」演奏・指導、平成 25～26 年 ・「いきいきコンサート」南大井文化センターホール、平成 25～26 年 ・「なかよしコンサート」品川区立大井倉田保育園、平成 26 年 <p>(講演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「品川区立東品川保育園保育士研修指導」東品川保育園 平成 25 年～26 年 ・品川区保育士ブロック研修『音楽遊び』講演・指導、台場小学校、平成 26 年 ・品川区保育士ブロック研修『音楽遊び』講演・指導、伊藤小学校、平成 28 年 ・品川区保育第 7 ブロック研修『音楽遊び』講演・指導、伊藤幼稚園、平成 28 年 6 月 ・品川区保育第 1 ブロック研修『音楽遊び』講演・指導、北品川第二保育園、平成 28 年 9 月 ・品川区保育第 4 ブロック研修『音楽遊び』講演・指導、八潮わかば幼稚園、平成 28 年 9 月 ・品川区保育第 3 ブロック研修『音楽遊び』講演・指導、山中小学校、平成 28 年 9 月
--	--

ふりがな 氏名	やまもと なおき 山本 直樹	職名	准教授
学位	教育学修士	現在の研究分野	保育学、教育学
所属学会	日本演劇学会、日本保育学会、日本国際理解教育学会、日本乳幼児教育学会、日本教育方法学会、日本保育文化学会		
主要担当授業科目	「保育内容（ドラマ表現）」、「教育方法Ⅱ」「特別活動の指導」、「社会科指導法」		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	<p>科学研究費補助金、平成 24 年度～26 年度、若手研究(B)、課題番号 24730687、「保育者養成における「劇表現指導法」のカリキュラム・モデルと補助教材の開発」（研究代表者）</p> <p>全国保育士養成協議会関東ブロック協議会平成 25 年度ブロック研究・研究費助成、「授業を通じた保育士資質としての「表現力」の育成」（研究分担者）</p> <p>科学研究費補助金、平成 27 年度～30 年度、基盤研究(C)、課題番号 15K04530、「保育者養成校における演劇を専門としない教員のための劇表現指導教材の開発」（研究代表者）</p> <p>平成 27 年度東京家政大学生生活科学研究所総合研究プロジェクト、平成 27 年度～平成 29 年度、「坪内逍遙が児童教育にもたらした偉業—家庭用児童劇の導入的意義」（研究分担者）</p>		
学会及び社会における	日本演劇学会付設「演劇と教育」研究会運営委員（平成 24 年～現在）、同紀要編集委員（平成 26 年～現在）同日本演劇教育研究事典編集委員		

<p>主な活動</p>	<p>(平成 26 年～現在) 日本演劇教育連盟全劇研部長(平成 24 年～平成 29 年)、同常任委員(平成 25 年～平成 28 年) 第 62～66 回全国演劇教育研究集会実行委員長(平成 25 年～現在) 特定非営利活動法人アートインライフ理事(平成 13 年～現在) 国立民族学博物館 研究協力員(平成 26 年～平成 27 年) 特定非営利活動法人表現教育研究所理事(平成 19 年～23 年)、同常務理事(平成 23 年～現在) 日本保育文化学会監事(平成 26 年～現在)</p>
<p>過去 5 年の 研究業績</p>	<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『乳幼児期から学童期への発達と教育』保育出版会、平成 25 年(共著) ・『子どもが育つ環境と保育の指導法』保育出版会、平成 28 年(共著) ・『教職論』ミネルヴァ書房、平成 29 年(共著) <p>【学術論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育者養成におけるコミュニケーション能力の育成に関する研究－保育教材としてのパペットの製作と活用を通して－」『保育士養成研究』第 29 号、平成 24 年(共著) ・「保育現場における過程としての劇遊びの実践的研究－指導者の役割を中心に－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 3 号、平成 24 年(共著) ・「これからの教育活動におけるドラマ教育のもつ可能性」『Education in the School Library (発行：学校図書館教育研究会)』4、平成 24 年(共著) ・「「子守唄とおんぶ・抱っこ」の子育て慣行・伝承に関する研究－都市部と農村部の実態調査を通して－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 4 号、平成 25 年(共著) ・「自作教材研究に特化した授業の実践－絵本を題材としたパネルシアターの製作と保育現場での実演を中心に－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 4 号、平成 25 年(共著) ・「『三びきのやぎのがらがらどん』の絵本に基づく劇遊び実践の再考察－多様な先行事例との比較を通して－」『立教女学院短期大学紀要』第 44 号、平成 25 年(単著) ・「子育て支援施策の変遷と日本保育学会年次大会における子育て支援研究の動向」『中村学園大学発達支援センター研究紀要』第 5 号、平成 26 年(共著) ・「「保育内容(ドラマ表現)」における最終課題の設定とその指導に関する研究」『有明教育芸術短期大学紀要』第 5 巻、平成 26 年(共著) ・「「視聴覚教育」における靴下人形製作とその作品発表の意義と課題－学生によるふり返りの分析を中心に－」『立教女学院短期大学紀要』第 45 号、平成 26 年(単著) ・「劇的要素を含んだ「保育内容(表現)」の開講状況に関する考察」『有明教育芸術短期大学紀要』第 6 巻、平成 27 年(単著) ・「保育者養成課程における保育内容「表現」の実証的検討－プレイメイキングによる学生の自己表現力とコミュニケーション力の育成－」『東京家政大学博物館紀要』第 20 号、平成 27 年(共著) ・「「保育内容指導法演習(クリエイティブ・ドラマ)」の意義と課題－学生のふりかえりを手がかりに－」『こども教育宝仙大学紀要』第 6 号、平成 27 年(単著) ・「保育者養成教材としての絵本『三びきのやぎのがらがらどん』」、『保育文化学会研究』第 1 号、平成 27 年(単著) ・「領域「表現」をめぐる養成校の現状と課題」、『保育教諭養成課程研究』第 1 号、平成 27 年(共著) ・「「演劇と教育」研究の蓄積のために－共有すべき基礎知識・用語－」、『演劇教育研究』第 6 号、平成 27 年(共著) ・「演劇に関する研究の動向－日本保育学会年次大会(2001～2015)における研究発表を中心に－」、『有明教育芸術短期大学紀要』第 7 号、平成 28 年(共著) ・「保育内容(表現)における劇的要素を含む授業について」、『清泉女学院短期大学研究紀要』第 34 号、平成 28 年(共著)

- ・「卒業研究」における児童文学作品の劇化プロジェクト—幼稚園でのリーダーシアター公演の制作過程を中心に—、『保育文化研究』第2号、平成28年（単著）
- ・「坪内逍遙が児童教育にもたらした偉業—家庭用児童劇の導入的意義（1）」、『東京家政大学 生活科学研究所研究報告』第39号、平成28年（共著）
- ・「保育教諭に求められる資質・能力を検討するための基礎的研究—幼稚園教諭と保育士の養成課程における領域「表現」にかかる科目のシラバス分析—」、『保育教諭養成課程研究』第2号、平成28年（共著）
- ・「演劇に関する研究の動向Ⅱ—日本保育学会年次大会（1986～2000）における研究発表を中心に—」、『有明教育芸術短期大学紀要』第8号、平成29年（共著）
- ・「アクティブ・ラーナーの育成を目指した演劇的手法を活用したコーチングの可能性と課題—大学間連携等によるワークショップ型演習の実践を通して—」、『東京家政大学博物館紀要』第22号、平成29年（共著）

【学会発表・公演・講演等】

（学会発表）

- ・「保育者養成におけるドラマの活用(2)—聴くことからの発展—」日本保育学会第65回大会、平成24年（単独発表）
- ・「学生の内的メッセージを愛好歌から探る—「劇表現指導法」の教材開発の手がかりとして—」第51回全国保育士養成協議会研究大会、平成24年（単独発表）
- ・「ドラマ／演劇による保育者養成プログラム」日本乳幼児教育学会第22回大会自主ラウンドテーブル、平成24年（共同発表）
- ・「学生の主体的参加を促す保育内容（劇表現）の教材に関する研究」第52回全国保育士養成協議会研究大会、平成25年（単独発表）
- ・「保育者養成におけるドラマの活用(3)—触ることからの発展—」日本保育学会第67回大会、平成26年（単独発表）
- ・「保育士養成校における劇的要素を含んだ「保育内容（表現）」の開講状況調査」第53回全国保育士養成協議会研究大会、平成26年（単独発表）
- ・「授業を通じた保育者資質としての「表現力」の育成」日本乳幼児教育学会第24回大会自主シンポジウム、平成26年（共同発表）
- ・「台湾の保育者養成カリキュラムにおける演劇的授業の調査」日本保育学会第68回大会、平成27年（単独発表）
- ・「演劇を専門としない教員のための劇表現指導教材の研究—対象という観点を中心に—」全国保育士養成協議会第54回研究大会、平成27年（共同発表）
- ・「演劇と教育」研究の蓄積のために—共有すべき基礎知識・用語—」2015年度日本演劇学会全国大会パネル・セッション、平成27年（共同発表）
- ・「子どもと劇をどうつくるか」64回全国演劇教育研究集会主催シンポジウム、平成27年（共同発表）
- ・「養成校の学びと幼稚園での実践（表現等）部会」報告」一般社団法人保育教諭養成課程研究会第2回総会・研究大会、平成27年（共同発表）
- ・「保育方法としての演劇の活用—リーダーシアター（朗読劇）に着目して—」日本保育学会第69回大会、平成28年（単独発表）
- ・「演劇を専門としない教員のための劇表現指導教材の研究（2）—学生に対する評価を中心に—」全国保育士養成協議会第55回研究大会、平成28年（共同発表）
- ・「領域「表現」をめぐる養成校の現状と課題—シラバス分析の報告—」一般社団法人保育教諭養成課程研究会第3回総会・研究大会、平成28年（共同発表）

（講演等）

- ・子ども文化地域コーディネーター協会主催 2012 秋マンスリーセミナー講座講師「子どもの生活と文化芸術・基礎」、平成24年（単独）
- ・有明教育芸術短期大学主催平成24年度免許状更新講習講座講師「子どもの表現活動をどう展開するか」、平成24年（単独）
- ・国立民族学博物館・日本国際理解教育学会共催博学連携教員研修ワークショップ in みんなく WS 講師「みんなくシアター：展示から劇活動へ」、平成24年（共同）

	<ul style="list-style-type: none"> ・日本演劇教育連盟主催第61回全国演劇教育研究集会講座講師「子どもの劇表現をより豊かに.まずはやっぱり自己表現.」、平成24年(共同) ・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部主催平成24年度KGCサマーリフレッシュプログラム 講座講師「劇づくりで育つ子どもたち」、平成24年(単独) ・有明教育芸術短期大学主催、平成25年度免許状更新講習講座講師「子どもの感性と想像力を育む表現活動をどう展開するか」、平成25年(単独) ・国立民族学博物館・日本国際理解教育学会共催博学連携教員研修ワークショップ in みんなWS 講師「みんなシアター.展示の登場人物になってみよう!」、平成25年(共同) ・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部主催平成25年度KGCサマーリフレッシュプログラム講座講師「劇づくりで育つ子どもたち」、平成25年(単独) ・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部主催平成26年度KGCサマーリフレッシュプログラム講座講師「劇づくりで育つ子どもたち」、平成26年(単独) ・国立民族学博物館・日本国際理解教育学会共催博学連携教員研修ワークショップ in みんなWS 講師「みんなシアター:「多みんぞくニホン」を体感する」、平成26年(共同) ・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部主催平成27年度KGCサマーリフレッシュプログラム講座講師「劇づくりで育つ子どもたち」、平成27年(単独) ・公益社団法人福島県私立幼稚園連合会主催新任教員研修講座講師「劇表現によるコミュニケーション」、平成27年(単独) ・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部主催平成28年度KGCサマーリフレッシュプログラム講座講師「劇づくりで育つ子どもたち」、平成28年(単独) ・有明教育芸術短期大学主催、平成28年度免許状更新講習講座講師「子どもの感性と想像力を育む表現活動をどう展開するか」、平成28年(単独) ・公益社団法人福島県私立幼稚園連合会主催新任教員研修講座講師「新任教員研修会」、平成28年(単独) ・あかねの森保育園・ともだちの森保育園園内研修講師、平成29年(単独) ・ティアラこうとう主催 有明教育芸術短期大学特別公開講座講師「朗読劇(リーダーシアター)を楽しもう」平成29年(共同) <p>(報告書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育者養成における「劇表現指導法」のカリキュラム・モデルと補助教材の開発」科学研究費補助金研究成果報告書、平成27年(単著) ・「国立民族学博物館調査報告138 学校と博物館でつくる国際理解教育のワークショップ」国立民族学博物館文化資源研究センター、平成28年(共著)
--	---

ふりがな 氏名	あかさか すみか 赤坂 澄香	職名	講師
学位	修士(心理学)	現在の研究分野	臨床心理学
所属学会	日本心理臨床学会、日本カウンセリング学会、日本描画テスト・描画療法学会		
主要担当授業科目	「保育内容(人間関係)」、「保育の心理学Ⅰ」、「保育の心理学Ⅱ」、「子ども理解の方法」		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし		
学会及び社会における 主な活動	特記事項なし		

過去5年の 研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> 『しつけ事典』一藝社、平成25年（共著） 『投影描画法ハンドブック ―絵によるパーソナリティ理解―』武久出版、平成26年（単著） <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「描画体験の評価に関する尺度の作成の試み」『目白大学心理学研究』第8号、平成24年（共著） 「卵画と洞窟画における描画後質問(PDI)の作成に関する研究」『目白大学心理学研究』第8号、平成24年（共著） 「家族画における『表情』に関する研究 ―自己イメージおよび親との心理的距離との関連から―」『有明教育芸術短期大学紀要』第3号、平成24年（単著） 「多文化共生保育に関する研究の概観―保育者養成に関連した多文化共生保育研究に着目して―」『有明教育芸術短期大学紀要』第5巻、平成26年（共著） 「青年期における動的家族画の描画特徴」『有明教育芸術短期大学紀要』第6巻、平成27年（単著） <p>[学会発表・公演・講演等] (報告書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『幼児期の教育と発達に関する都市と農村の比較研究』（有明教育芸術短期大学子ども教育学科研究プロジェクト研究報告書）、平成25年（共著）
---------------	---

ふりがな 氏名	いわもと けいこ 岩本 圭子	職名	講師
学位	修士（教育学）	現在の研究分野	保健学
所属学会	日本学校保健学会、日本保健医療行動科学会、日本保健医療社会学会、日本小児保健協会		
主要担当授業科目	「子どもの保健Ⅰ」、「子どもの保健Ⅱ」、「乳児保育」		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし		
学会及び社会における 主な活動	特記事項なし		
過去5年の 研究業績	<p>[著書]</p> <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公立幼稚園長の職務内容と精神的健康に関する研究―修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) を用いた公立幼稚園長へのインタビュー・データの分析から―」『有明教育芸術短期大学紀要』第6巻、平成27年（単著） <p>[学会発表・公演・講演等]</p>		

ふりがな 氏名	岡本 仁美	職名	講師
学位	修士（学術・文学学）	現在の研究分野	障害児保育 インクルーシブ保育 モンテッソーリ治療教育

所属学会	日本モンテッソーリ協会（学会） 日本臨床発達心理士会 日本特殊教育学会
主要担当授業科目	障害児保育 家庭支援論 保育実習（施設）ⅠⅢ 事前事後の指導（施設）ⅠⅢ
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし
学会及び社会における 主な活動	長崎市子ども部幼児課 長崎市立保育所所長研修会講師 平成24年 長崎県「認定こども園保育者資質向上研修」講師 平成25～平成28年 長崎市教育委員会 小学校教員研修 平成24年 長崎県東彼杵郡川棚町教育委員会 東彼特別支援教育コーディネーター 研修会 平成24年
過去5年の 研究業績	<p>【著書】 『学ぶ・わかる・みえる シリーズ 保育と現代社会 演習・保育と障害のある子ども』 みらい 平成29年（共著） 『よくわかる障害児保育』大学図書出版 平成29年（共著）</p> <p>【学術論文】 ・「幼児期におけるインクルーシブ教育の実質化に向けての研究ーインクルーシブ 教育とモンテッソーリ教育の親和性に着目してー」（単著）『モンテッソーリ教育』 第49号、日本モンテッソーリ協会（学会）、平成29年</p> <p>【学会発表・公演・講演等】 （学会発表） ・「幼稚園における子どもの自発性を育む関わり」日本臨床発達心理士会第8回全 国大会 大会準備委員会シンポジウム「共に育つ」平成24年 ・「発達に支援が必要な子どもへのモンテッソーリ教具の適用に関する検討ー不器 用な子どもへの書字につなげる活動を通じた支援ー」（共同）日本モンテッソー リ協会（学会）第46回全国大会 平成25年 ・「インクルーシブ教育におけるモンテッソーリ教育法の検討」（単独）日本モンテ ッソーリ協会（学会）第46回全国大会 平成27年 ・「インクルーシブ教育におけるADHD児への発達支援法の研究ーモンテッソー リ教育の「提示」を感覚統合的に適用する試みを通してー」（単独） 日本モンテッソーリ協会（学会）第47回全国大会 平成28年 （講演） ・佐世保市立すぎの子園主催 佐世保市保育者研修会「子どもへの関わり方・保護 者への相談支援のありかた・保育の中での疑問」（講師）平成24年 ・社会福祉法人とどろき福祉会 学童保育「にこにこハウス」職員研修会「発達支 援児と家族への対応」（講師）平成24年 平成25年 ・佐世保市幼児教育センター主催 特別支援教育研修会「発達障害児とその家族へ の支援の実際」（講師）平成24年 ・長崎県私立幼稚園連合会 第25回教育研究大会「子どもの発達とさまざまな保 育の実践ー心と体のバランスー」（助言者）平成24年 ・平成24年度全日本私立幼稚園連合会九州地区 第28回教育研究沖縄大会「子ど もの発達と保育の実践」（助言者）平成24年 ・長崎純心大学付属純心幼稚園主催 保護者研修会「子どもの将来のために今何 が大切?」（講師）平成28年</p>

ふりがな 氏名	きくち だいすけ 菊地 大介	職名	講師
学位	修士（教育学）	現在の研究分野	ホリスティック教育、保育学、

			乳幼児期の体育
所属学会	日本運動学会、日本幼児体育学会、日本ホリスティック教育協会		
主要担当授業科目	「運動と健康」、「体育」、「体育科指導法」、「卒業研究」		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし		
学会及び社会における 主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ホリスティック教育協会 2012年度ホリスティック研究大会 口頭発表 ・東京学芸大学教職大学院 成田研究室共催 東京ホリスティック教育研究会 連続講座「ホリスティック・アプローチへの誘い」(第1回) 講師 ・プレパママクラス in めじろ保育園 先輩パパママ話題提供 ・平成28年度 谷中幼稚園職員研修 講師 		
主な研究業績	<p>【学術論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レクリエーションを用いたホリスティックな教育実践報告」日本ホリスティック教育協会『ホリスティック教育研究』第15号、平成24年(単著) ・「生活が中心にある保育実践報告—ある保育者の一考察—」日本ホリスティック教育協会『ホリスティック教育研究』第16号、平成25年(単著) ・「生活そのものを教育へ—幼児体育の再考から—」日本ホリスティック教育協会『ホリスティック教育研究』第18号、平成27年(単著) ・これからの幼児体育—保育における「見えにくい専門性」とのつながり—有明教育芸術短期大学紀要 第7巻(単著) <p>【学会発表・公演・講演等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもも大人も幸せな保育実践に関する一考察—ウッディキッズという居場所—」日本ホリスティック教育協会 2012年度ホリスティック研究大会、平成24年(単独発表) ・「子どもも大人も幸せな保育実践に関する一考察—ウッディキッズという居場所—」東京学芸大学教職大学院成田研究室共催東京ホリスティック教育研究会 連続講座「ホリスティック・アプローチへの誘い(第1回)」、東京学芸大学、平成24年 		

ふりがな 氏名	きだ りょうたろう 木田 竜太郎	職名	講師
学位	公共経営修士(専門職)	現在の研究分野	教育学, 行政学, 歴史学
所属学会	日本教育学会, 大学教育学会, 日本社会教育学会, 日本学習社会学会, 教育史学会, 日本教育史学会, 全国地方教育史学会, アジア教育史学会, 日本国際教育学会, 国際アジア文化学会, 早稲田大学教育学会		
主要担当授業科目	教育人間学, 人権と子ども, 教育の理念と歴史, 教育の組織と運営, 保育原理 I (理念)		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日新聞社 第2回朝日みらい教育賞「新聞記者体験を通じて地域の子どもたちの郷土愛を育むシティズンシップ教育」(新聞活用賞, 研究代表者: 橋本祥夫)(平成27年度) ・学校法人関東学院(学院改革推進5ヵ年計画支援事業)「関東学院大学と学生の“ユニバーシティ・アイデンティティ”確立に資する効果的な「自校史教育」プログラムの研究」(研究企画者, 研究代表者: 出石稔)(平成26~28年度) ・科学研究費補助金基盤研究A(海外学術調査)「先住民族の教育権保障に関する国際比較研究」(研究協力者, 研究代表者: 岩崎正吾)(平 		

	<p>成 24～26 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金基盤研究C (一般)「教育改革期における女子大学の实態的研究——教育理念と学部構成を中心に」(研究協力者, 研究代表者: 湯川次義)(平成 24～26 年度)
学会及び社会における 主な活動	<p>日本社会教育学会 幹事 (平成 23～25 年度) 日本国際教育学会 幹事 (平成 22～24 年度) 日本学習社会学会 第 9 回大会実行委員会委員 (平成 24 年度) 国際アジア文化学会 第 21 回大会実行委員会事務局長 (平成 24 年度)</p>
過去 5 年の 研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『学習社会への展望——地域社会における学習支援の再構築』(共著) 明石書店 (平成 28 年) ・『学校教育法実務総覧』(共著) エイデル研究所 (平成 28 年) ・『新編 よくわかる教育の基礎』(共著) 学文社 (平成 27 年) ・『生涯学習と多文化・多民族教育の研究』(共著) 学文社 (平成 25 年) ・『よくわかる教育の基礎』(共著) 学文社 (平成 24 年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「戦後教育改革期における「地域大学」構想の一事例——中野藤吾と立川学園の活動をめぐって」(単著) 日本学習社会学会『学習社会への展望』(再掲) (151-160 頁) (平成 28 年) (査読付) ・「初期「短期大学」の成立と展開に関する一考察——関西学院長・神崎驥一と「関西四大学」の動向を中心に」(単著)『大学教育学会誌』第 37 巻第 2 号 (114-123 頁) (平成 27 年) (査読付) ・「新制大学十二校先行認可問題に関する一考察——関西学院長・神崎驥一と「関西四大学」の動向を中心に」(単著)『日本教育史学会紀要』第 5 巻 (48-68 頁) (平成 27 年) (査読付) ・「大学における男女共同参画の推進に関する一研究——各大学の取り組みの事例を中心に」(共著) 早稲田大学教育総合研究所『早稲田教育評論』第 28 巻第 1 号 (69-88 頁) (平成 26 年) (査読付) ・「大学は震災にどう対応したか——早稲田大学と「留学生」の選択と行動」(単著) 日本国際教育学会『国際教育』第 19 号 (134-136 頁) (平成 25 年) ・「日本型コミュニティ・カレッジ構想とキャリア支援教育——短期大学「地域総合科学科」をめぐって」(単著) 早稲田大学教育総合研究所『早稲田教育評論』第 27 巻第 1 号 (97-108 頁) (平成 25 年) (査読付) ・「高等教育質保証と日本の課題——大学認証評価「完成年」の実状をめぐって」(単著)『早稲田大学教育学会紀要』第 14 号 (121-128 頁) (平成 25 年) ・「高等継続教育の日本的展開に関する一考察——私立短期大学の消長・変遷過程を中心に」(単著) 早稲田大学教育総合研究所『早稲田教育評論』第 26 巻第 1 号 (159-172 頁) (平成 24 年) (査読付) ・「高等継続教育の日本的展開に関する一考察——国立短期大学の消長・変遷過程を中心に」(単著)『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』別冊第 19 巻第 2 号 (83-93 頁) (平成 24 年) (査読付) ・「大学構造改革と「子ども学」の展望——「資格志向」とカリキュラム編成」(単著)『早稲田大学教育学会紀要』第 13 号 (253-260 頁) (平成 24 年) ・「早稲田大学における「女性」の歴史・現状・課題——男女共同参画社会構築の視点から」(共著) 早稲田大学教育総合研究所『早稲田教育評論』第 26 巻第 1 号 (33-54 頁) (平成 24 年) (査読付) <p>[学会発表・公演・講演等] (学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新聞を通じて地域の子どもの地元愛を育む研究——ローカル新聞社と連携した子ども記者クラブの実践を通して」(共同) 日本 NIE 学会第 12 回大会 (平成 27 年, 於: 奈良教育大学) ・「短期大学の成立過程に関する一考察——「新制大学等審査報告書」および「短期大学調査資料」の検討を中心に」(単独) アジア教育史学会第 23 回大会 (平成 26 年, 於: 明治大学)

- ・「戦後教育改革と地域社会——中野藤吾と立川学園を中心に」(単独) 全国地方教育史学会第 36 回大会 (平成 25 年, 於: 上田女子短期大学)
- ・「高等教育質保証と日本の課題——大学認証評価「完成年」の実状をめぐって」(単独) 早稲田大学教育学会第 14 回大会 (平成 25 年)
- ・「東日本大震災における日本在住外国人の対応」(共同) 日本国際教育学会第 23 回大会 (平成 24 年, 於: 国際教養大学)
- ・「新制大学 12 校先行認可問題に関する一考察——関西学院長・神崎驥一と「関西四大学」の動向を中心に」(単独) 教育史学会第 56 回大会 (平成 24 年, 於: お茶の水女子大学)
- ・「高等教育の質保証と日本の課題——大学評価制度“完成年”の現状を踏まえて」(単独) 国際アジア文化学会第 21 回大会 (平成 24 年, 於: 早稲田大学)
- ・「大学構造改革と「子ども学」の展望——“資格志向”とカリキュラム編成」(単独) 早稲田大学教育学会第 13 回大会 (平成 24 年) (講演等)
- ・「京都府南部地域におけるトップ・キーパーソンのネットワーク形成と地域志向のキャリア支援教育の在り方に関する研究」京都文教大学「知(地)の拠点整備事業」地域志向教育研究成果報告会 (平成 29 年)
- ・「公立女子短期大学設立過程の比較研究」山形県立米沢女子短期大学日本史学科 (平成 28 年)
- ・「学生の“地域志向”と評価の課題」京都文教大学地域協働研究教育センター「知(地)の拠点整備事業」FD・SD 研修会 (平成 28 年)
- ・「“地域志向教育”とその評価を考える」京都文教大学地域協働研究教育センター「知(地)の拠点整備事業」FD・SD 研修会 (平成 27 年) (報告書等)
- ・「地域志向教育における教育評価手法の開発に関する基盤的研究(2)」(単著) 平成 28 年度 地域志向協働研究『研究成果報告書』(平成 29 年, 京都文教大学地域協働研究教育センター)
- ・「京都府南部地域におけるトップ・キーパーソンのネットワーク形成と地域志向のキャリア支援教育の在り方に関する研究」(単著) 平成 28 年度 大学 COC 事業 地域志向教育研究『研究成果報告書』(平成 29 年, 京都文教大学 COC 推進委員会)
- ・「地域志向教育における教育評価手法の開発に関する基盤的研究(1)」(単著) 平成 27 年度 地域志向協働研究『研究成果報告書』(平成 28 年, 京都文教大学地域協働研究教育センター)
- ・[史料紹介]「文部省大学学術局技術教育課『短期大学調査資料』について(2)——文部事務官・村越義雄の同時代回想録を中心に」(単著) 早稲田大学大学院教育学研究科日本教育史研究室『日本教育史論集』第 4 号 (平成 29 年)
- ・[史料紹介]「文部省大学学術局技術教育課『短期大学調査資料』について(1)——文部事務官・村越義雄の同時代回想録を中心に」(単著) 早稲田大学大学院教育学研究科日本教育史研究室『日本教育史論集』第 3 号 (平成 28 年)
- ・[図書紹介] 吉田文『大学と教養教育——戦後日本における模索』岩波書店 (平成 25 年) (単著) 教育史学会『日本の教育史学』第 57 集 (平成 26 年)
- ・[資料協力] 山田昭子, 杉原亨, 千葉隆行「自校史授業開講へ向けて」『関東学院大学高等教育研究・開発センター年報』第 1 号 (平成 27 年)
- ・[資料協力] 田中每実「森昭を読む——教育的公共性から世代継承的公共性へ」小笠原道雄, 田中每実, 森田尚人, 矢野智司『日本教育学の系譜』勁草書房 (平成 26 年)

ふりがな 氏名	たちばな かずよ 橋 和代	職名	講師
学位	修士	現在の研究分野	領域健康・表現 子育て支援

所属学会	教育医学学会 日本子ども学会 日本体力医学会
主要担当授業科目	事前事後の指導(保育所・施設) I 保育内容総論 教育実習(幼稚園)
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし
学会及び社会における 主な活動	子育て支援 NPO<いないいないばあ> 代表理事(自宅開放型子育て支援)
過去5年の 研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> 『ブン太シカにのる』(作:橘 かずよ 絵:小林かなこ)(株)文芸社、平成24年(単著) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「体格特性に基づく肥満児の判定指標の作成」『教育医学学会教育医学』第57巻第4号、平成24年(共著) 「身体表現活動における羞恥心の要因の検討に有効な質問項目の選択」『福井工業大学研究紀要』第45号平成27年(共著) <p>[学会発表・公演・講演等] (学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「日常生活における肥満児判別に有効な項目の選択」『日本体育学会』第63回大会、平成24年(共同発表) 「幼児の縄跳び運動における Stretch-shortening cycle 動作の評価」『日本体力医学会第67回大会』平成24年(共同発表) 「幼児の日常生活における肥満児判別項目の回答と幼児教育歴の関係」『日本体力医学会』第67回大会平成24年(共同発表) 「幼児の筋肉率とBMIに関する検討」『日本体力医学会』第67回大会平成24年(共同発表) 「BI測定法(4電極法)による幼児の体脂肪率とBMIの相関について」『日本体力医学会』第68回大会平成25年(単独発表) <p>(講演)</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭島市児童センター主催「乳幼児を抱える保護者の現状とその問題点について—地方と都心の子育て環境を比較する。—昭島市児童センター、平成29年

ふりがな 氏名	たなか まさよ 田中 正代	職名	講師
学位	修士(家政学)	現在の研究分野	教育方法・授業づくり
所属学会	日本教材学会・日本保育学会		
主要担当授業科目	教職入門・道徳性の教育・事前事後指導(小学校)・生活指導・教職実践演習		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし		
学会及び社会における 主な活動	・未来を拓く子供の育成事業講師(荒川区立尾久第2幼稚園)(平成25年度～平成28年度)		
過去5年の 研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> 『こどもの世界 こどもと文化/生活 I』大学図書出版、平成25年5月17日(共著) 『新・教職入門』学文社、平成26年3月(共著) 		

- ・『教職実践演習 これまでの学びと教師への歩み』わかば社、平成 26 年 3 月(共著)
- ・『保育内容の基礎と演習』わかば社、平成 27 年 3 月(共著)
- ・『保育方法の基礎』わかば社、平成 27 年 5 月(共著)
- ・『手作りパネルシアターの基礎』埼玉福祉会、平成 28 年 4 月(単著)

[学術論文]

- ・「パネルシアターの実践指導法研究(1)ーモーリシャスでの指導ワークショップを事例としてー」大妻女子大学家政系研究紀要第 50 号、平成 26 年 3 月(共著)
- ・「パネルシアターの実践指導法研究(2)ー2014~15 インドでの指導ワークショップを事例にしてー」大妻女子大学家政学系研究紀要第 52 号、平成 28 年 3 月(共著)
- ・「保育におけるパネルシアターの有効性ー子供の実態に即した活用ー」昭和学院短期大学紀要第 52 号、平成 28 年 2 月(共著)
- ・「幼児教育から小学校「国語科」の接続を意識した教材の研究ーお話を題材としたパネルシアター教材に着目してー」小田原短期大学研究紀要第 47 号、平成 29 年 3 月(単著)
- ・「パネルシアター教材の確立過程に関する研究ー創案者古宇田亮順の技法に着目してー」教材学研究第 28 号、日本教材学会、平成 29 年 3 月(単著)

[学会発表・公演・講演等]

(学会)

- ・「「里」保育の研究ー日本における「里」文化の特徴ー」日本保育学会ポスター発表、(平成 28 年) (共同研究)

(講演会)

- ・モーリシャス大学にて政府主催の教師対象にした授業にパネルシアター取り入れるためのワークショップ(教育に取り入れる技術指導)講師として招聘(平成 25 年 7 月)
- ・インドにて教育方法としてのパネルシアターワークショップ講師として招聘(平成 26 年 7 月)
- ・インド NIFAA 主催・インド国際交流基金後援教育方法としてのパネルシアターワークショップへ招聘(平成 27 年 9 月)
- ・インド NIFAA 主催第 3 回教育方法とのパネルシアターワークショップへ招聘(平成 28 年 9 月)
- ・静岡県立大学「地(知)の拠点整備事業(COC 事業)地域を志向した研究「地域の教育資源との連携による学生の保育実践力の向上」(COC 採択研究事業)講師(平成 28 年 7 月から 10 月)

(教材制作)

- ・カラーパネルシアター/道案内・What animal?(英語) 埼玉福祉会、平成 24 年 3 月
- ・カラーパネルシアター 忍者で呪文(算数) 埼玉福祉会、平成 24 年 3 月
- ・安全ロボット君と自分の身を守る 4 つのアイテム(安全教育) 埼玉福祉会、平成 25 年 3 月
- ・カラープリントパネルシアター・ロバと親子(道徳・国語)大東出版社、平成 25 年 11 月
- ・カラープリントパネルシアター・手をあらおう(保健)大東出版社、平成 25 年 11 月
- ・カラープリントパネルシアター漢字の成り立ち(国語)大東出版社、平成 25 年 11 月
- ・カラープリントパネルシアターひつじかいとおおかみ(道徳・国語)大東出版社、平成 25 年 11 月
- ・カラープリントパネルシアター花を咲かせた水がめの話(道徳・国語)大東出版社、平成 26 年 7 月
- ・カラープリントパネルシアターウォッチくん(算数・生活)大東出版社、平成 26 年 8 月

・アリとキリギリス(道徳・国語)埼玉福祉会、平成28年4月

氏名 <small>ふりがな</small>	松田 扶美子 <small>まつだ ふみこ</small>	職名	講師
学位	修士(芸術学)	現在の研究分野	音楽教育、声楽
所属学会	音楽教育メディア学会		
主要担当授業科目	音楽I、保育教材A(わらべうたと手遊び)		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし		
学会及び社会における 主な活動	特記事項なし		
過去5年の 研究業績	[著書] [学術論文] [学会発表・公演・講演等] (公演) <ul style="list-style-type: none">・「クリスマスコンサート」自由学園明日館講堂、平成23年～平成24年・「サマーコンサート」、杉並公会堂、平成24年・「クリスマスコンサート」、杉並公会堂、平成24年・霊南坂教会クリスマス礼拝にて合唱指揮及び独唱(彰栄保育福祉専門学校) 平成25年～平成27年・「愛コンサートドラマチック」「夢コンサート～ロマンチック」 新高円寺スタジオKホール、平成26年・「チャペルコンサート」日本聖書神学校講堂、平成27年		